

南山大学広報誌

# NANZAN

## BULLETIN

vol.214  
2020.12.20

特集

①ウイズ コロナ

②新・理工学部へ



NANZAN  
UNIVERSITY

# with CORONA

特集1

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、第2クォーターまでは全面的にオンライン授業となり、第3クォーターからは、万全の感染症拡大防止対策を講じつつ、キャンパス内でオンライン授業を受講するための受信教室やBYOD教室、ノートPC教室を整備した上で、一部対面授業を再開しました。授業とは別に、一度もキャンパスに通学していない新入生向けの特別出校日をはじめ、国際交流や図書館のイベントなど、少しでもキャンパスライフを体験できる機会を設けました。第4クォーターからは、学生同士や学生と教職員との交流の機会も増やせるよう、対面授業の比率を上げています。

ここでは、コロナ禍での本学独自の取組みや学生たちの新たな発想による挑戦の様子をご紹介します。今後も本学では、引き続き感染症拡大防止対策をしっかりと講じて、コロナ禍での新たな取組みを実践していきます。

南山大学 学長  
ロバート・キサラ  
*Robert J. Keisler, S.V.I.*

「うつらない工夫 うつさない配慮  
人間の尊厳のために ~南山大学~」



## 対面授業における感染症対策

第3クォーターからの一部対面授業実施にあたり、感染症拡大防止のため以下のルールを定めています。

- ・対面授業は教室収容定員の3分の1以下に限定する。
- ・前後左右の席を1席ずつ空けて着席すること。2時間続けて同一教室を使用する際には、各時限違う席を使用する。
- ・必ずマスクを着用し、私語は慎むこと。あちこち不必要に触らない。
- ・座席を離れる際もソーシャルディスタンスを保つ。
- ・こまめに手指消毒を心がける。



## 実習や実験を伴う授業が再開しました

人文学部や理工学部などの実習や実験の授業が再開となりました。グリーンエリアや研究室などで感染症拡大防止対策を取りながら授業をする様子が見られています。



### 学生の声

まだ一部ですが、対面授業が始まって嬉しいです。授業中のふとした疑問や、理解に迷ったことをすぐに友人に聞ける環境は貴重なのだと実感しました。実際に機器を触って、操作することで理解がより深まりました。

※撮影時のみマスクを外しています。イベント開催時には、手指消毒・マスクの着用などの感染症拡大防止対策を講じています。

## 教室内の工夫

教室の座席に色と番号を記載したシールを貼付し、時限ごとに使える座席を分けています。また、学生にはスマートフォンで座席シールを写真にとるなど、利用した座席と日時を記録しておいてもらうことで、学内で感染が発覚した際に自分が感染しているリスクがあるかどうか確認することができます。また、対面授業のために来学した学生が、その前後のオンライン授業を学内で受講できる受信教室を用意。持参したPCやiPhoneなどを使用して授業を受けることができます。さらにPCを持ってこられない学生のために、ノートPC教室を用意しています。

時限	利用する座席
1、3、5限	青色シール
2、4限	黄色シール



## ハイブリッド授業の実施

本学では、第3クォーター以降に対面式となった授業科目についても、同時にオンラインで受講できる「ハイブリッド授業」を実施することで、公共交通機関での移動に不安を抱える等の事情がある学生にも安心して授業に参加できる環境を提供しています。

国際教養学部の山岸ゼミでは、約半数ずつが対面とオンラインで参加し、ディスカッションやグループ発表を行っています。山岸教授は、Zoomのブレイクアウトルーム機能\*を活用し、オンラインでの参加者同士が対面での会話と遜色なくコミュニケーションが取れる場を設けています。また、山岸教授はゼミ以外にも、語学の授業でこのブレイクアウトルーム機能を活用して、自分や相手の発音を集中して聞き取らせるなど、雑音が入らないというメリットによる学生の語学力向上に力を入れています。

\*Zoom上で授業に参加している学生を小さなグループに分けることができる機能

▶対面とPC越しにオンラインで参加する学生がともに受講する山岸ゼミ



## 学生食堂「リアンカフェ」が再開

第3クォーターより、学生食堂「リアンカフェ」が営業を再開しました。

- ～リアンカフェでの感染症拡大防止対策～
- ・飛沫対策のため、各席にパーテーションを設置
  - ・従業員のマスク着用を徹底
  - ・食堂内の換気の徹底
  - ・レジの待機列でのソーシャルディスタンスの確保
  - ・手洗い、手指消毒のお願い



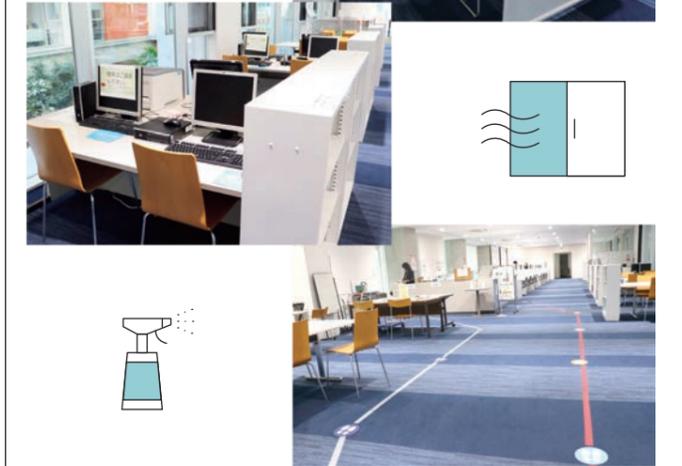
※掲載内容は取材時(10~11月)の情報です。今後の状況によって変更となる可能性があります。

## キャリア支援室より

キャリア支援室では、事前予約制で「Web面談」「電話」「対面」の方法で学生の皆さんの就職活動やキャリア形成の相談に応じています。

対面スペースは感染症拡大防止対策としてパーテーションの設置、サーキュレーターによる換気などの対策を行い、学生相談を実施しています。

また、あらかじめ来室する時間を予約することで、資料閲覧や情報収集のためにキャリア支援室を利用することもできます。使用した机やPC等はその都度職員が消毒するので、安心してご利用いただけます。



## 保健センターより

保健センター(保健室・学生相談室・特別修学支援室)では「新しい生活様式」の中で学ぶ学生の皆さんのこころからの健康をサポートするために、「新しい『支援』様式」で活動を行っています。例えば、第1クォーターと第2クォーターの期間は、相談方法を対面式から「Web相談」や「電話」、「メール」による遠隔相談に切り替え、学生や保護者の相談に対応してきました。第3クォーター以降も、引き続き遠隔相談を中心に、必要に応じて対面式での相談を実施するなど、メンタルヘルスならびにフィジカルヘルスのサポートを行っています。

また、「新しい『支援』様式」として、このコロナ禍においてこころからの健康に役立つような情報を提供する「保健センターだより」を第1クォーターから週1回のペースで発行し、大学WebページやPORTAに掲載しています。また、保健センターでは各種講座・イベントを企画しています。第3クォーターでは、感染症予防、メンタルヘルスについての講座、ヨガの体験講座などが開催されました。

第4クォーターにおいても、マインドマップや自己理解のための講座、キャリアを考える講座が開催される予定です。オンラインで参加できますので、是非ご参加ください。保健センターの利用方法は、大学Webページに掲載されています。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。

▼保健センターだよりはこちらから  
<https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/campus-life/>



## 1年生向けの留学に関するイベントを開催

国際センター主催で交換留学を経験した先輩から話を聞くことができる、1年生向けのイベント「交換留学経験者の先輩と話そう!」が開催されました。留学先の国・地域や言語で日程を分けて開催され、本学の協定校に交換留学した先輩達から交換留学生の選考プロセスや留学生活、南山大学でできる国際交流活動や、語学学習の方法など実際の体験に基づいた話を直接聞ける機会となりました。

参加した1年生からは「海外には行けない今だからこそ、1年生のうちにしっかりと語学学習に取り組み、交換留学に行くという目標を持つことができました。また南山大学でできる国際交流活動にも興味を持ちました。」という声を聞くことができました。



## リアル謎解きゲーム「数字に秘められた謎を解け! ~HOPE館長からの挑戦状~」を開催

現在、図書館にて密集を回避した非接触型イベント「図書館リアル体験型謎解きゲーム」を1月下旬まで開催しています。クイズ形式で謎を解きながら、自分で図書館の様々な場所を回り、図書館の使い方や資料の探し方をゲーム感覚で学ぶことができます。

1年生をはじめ、多くの学生が図書館で「謎解き」にチャレンジしています。



▲山田 望 館長

## 課外活動の段階的な再開

万全な感染防止策を講じることを条件に、9月2日から段階的に課外活動を再開しています。

- フェーズ1 (9/2-9/13)  
屋外での個人で行う活動(60分以内)
- フェーズ2 (9/14-10/11)  
屋外での個人または複数人で行う活動(120分以内)  
屋内での個人で行う活動(60分以内)
- フェーズ3 (10/12以降)  
屋内・屋外を問わず、複数人で行う活動(時間制限なし)

※ただし、飲食を伴う懇親会や合宿、不特定多数の人が接触するリスクのあるイベント等は引き続き禁止としています。

各課外活動団体は、活動内容に合わせた感染防止対策を策定し、所属学生に周知徹底した上で活動しています。さまざまな競技で、例年通りの公式戦や全国大会が中止となる中、代替となるトーナメントや特別試合に向けて、日々練習に取り組む姿が見られました。



▲すべての選手とスタッフが練習前に検温(アメリカンフットボール部)

※撮影時のみマスクを外しています。イベント開催時には、手指消毒・マスクの着用などの感染症拡大防止対策を講じています。

## コロナ禍の就職活動について

コロナ禍で例年通りとはいかない就職活動を経験している現4年生。そんな4年生の就職活動体験談やこれから就職活動を控えている学生たちへのアドバイスを聞いてみました。

経営学部  
経営学科

石川 晶悟さん  
製造・メーカー内定

私は、3年生の春ごろから就職活動を意識し始めました。3年生の夏にいくつか大手インターンシップを受けたのですが、ESですべて落とされてしまい、そこで初めて就職活動に対して危機感を覚えました。そこから、本格的に冬のインターンシップに向け自己分析や、会社四季報を読みこみ、キャリア支援室に通って就職活動の準備に取り組みました。

早めに準備を始めたことで、時間をかけて広い視野で企業研究をすることができ、内定先の業界を志望し、第一志望での内定をいただくことができました。

### 後輩たちへのアドバイス!

コロナの影響で、就職活動が本格化してくる時期にはキャリア支援室の予約が取りづらくなったので、早めに準備しておくことが大切です!また、面接時はマスクの着用をお願いされることもあり、顔や表情がわかりにくいので、面接時の声のトーンや姿勢はもちろんです。履歴書の写真もプロのスタジオで印象の良い写真を撮ることをおすすめします!



国際教養学部  
国際教養学科  
加藤 優貴さん  
金融業界内定

私は3年生の1月まで留学しており、新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい始めたころ帰国し、日本での就職活動をスタートさせました。私が当初希望をしていた海外関係の業種や企業は軒並みコロナの影響を受け、採用の縮小・中止が発表されました。その中、オンライン座談会に参加するなどの企業分析や自己分析を繰り返すことで、満足のいく形で就職活動を終えることができました。

私は就職活動のほとんどがオンラインの面接で最終面接のみ対面で行われました。オンラインでは面接官の反応などが分かりづらく不安になることもありましたが、逆にその状況をうまく利用することで緊張しすぎなかったことや、移動にかかる時間を企業研究に充てることができました。ただ、家族と同居をしているので、面接の時間には音や映り込みに気を付けてもらうようお願いをすることもあり、家族に協力してもらえたことに感謝をしています。

### 後輩たちへのアドバイス!

私は周りに比べて就職活動を始めるのが遅かったので余計に焦った部分があったのですが、人と比べないことが大事だと思います。一時はSNSを見るに焦るのでSNS自体を辞めた時期もありました。また、オンラインの画面に映った自分の顔をよく研究することも大切です。画面越しだからこそ、そこから読み取れるイメージを大切にしたい。私は写真撮影の際にプロにもらった普段より濃いメイクをオンライン面接時の参考にし、デスクライトを当て顔が明るく映るよう工夫しました。



## 外国語学部フランス学科の3・4年生が1年生向けに「オンライン座談会」を開催

フランス学科4年生の塩谷夏彼さんが主体となり3・4年生有志で、オンラインにて1年生対象の座談会を行いました。塩谷さんは、「コロナ禍で入学してきた1年生のために、自分たちがかつて不安な時に先輩達に助けてもらったように何かしたい」と考え、学科長にお願いして1年生に声をかけ、SNSでグループを作り、専攻ごとにグループを分けてオンライン座談会を開催しました。1年生60名のうち、合計で42名が参加。座談会では、フランス学科のこと、フランス語の勉強、留学や海外フィールドワークなどの質問が多く出ました。

また、1年生から「オンライン授業が続き、勉強のモチベーションが上がらない」との声に、同じく4年生で座談会に参加し、交換留学経験のある同学科4年生の三浦俊之介さんは「語学の勉強は、対面でもオンラインでも関係なく、自分の目標を立て、こつこつとその道筋を立てて勉強することが大事」と語りました。

オンライン座談会を通じて、知り合った1年生から時折授業でつまづいた際、SNS等に質問が寄せられるなど、交流が続いているそうです。



▲左から三浦さん、塩谷さん

### 参加した1年生の声

座談会が開催された時点では、まだ大学に行ったことがなかったので友人も作りにくい状況だったので誰とも繋がりを持つことができず、楽しい座談会というより、安心を得ることができた座談会でした。留学にかかるリアルな金銭面の話を直接聞くことができ、貯金の目標を立てることができました。オンラインで顔を出して上級生や同級生と話をすることに最初は少し抵抗感がありましたが、少人数制だったのでとても話しやすかったです。

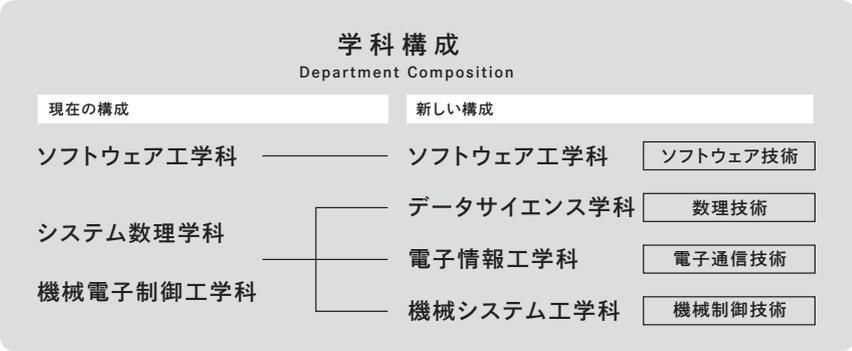
※掲載内容は取材時(10~11月)の情報です。今後の状況によって変更となる可能性があります。

# 新・理工学部へ!

Faculty of Science and Technology

## 1 / 理工学部は3学科から4学科へ

最近の理工学は、ソフトウェア技術や数理技術の進歩が、電子通信技術や機械制御技術の進歩とあいまって、大きな変貌を遂げつつあります。南山大学理工学部では、このような時代の変化に応えるため、2021年4月に組織を再編し、4学科体制をスタートさせます。



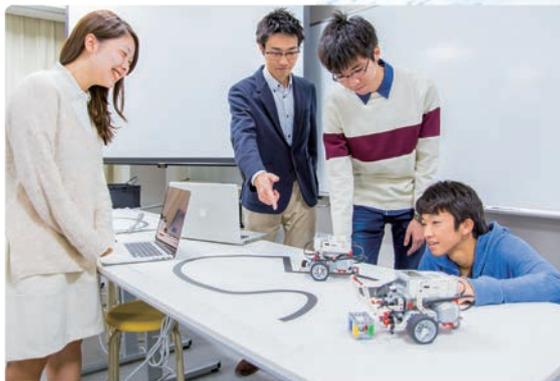
## 2 / 新しい4学科の学び

ソフトウェア工学科では、ソフトウェアの原理と技術を総合的に学び、系統的なソフトウェア開発を実践する力を育てます。データサイエンス学科では、ビッグデータの分析や機械学習の活用を通して、社会や企業の問題を発見・解決する力を育てます。電子情報工学科では、電子通信機器や情報ネットワークの技術と方法論を修め、安全で便利な情報通信システムを開発できる人材を育てます。機械システム工学科では、制御工学と機械工学の技術と方法論を修め、機械システムの設計や開発ができる人材を育てます。



## 3 / 副専攻制の導入

新しい4学科の専門領域は、完全に独立しているわけではなく、相互に関連があります。このことを強みとして生かすべく、副専攻制という仕組みを導入します。理工学部の学生は、所属する学科に加えて他学科を1つ選び、副専攻とします。副専攻では、その学科の重要科目を系統的に学習し、仕上げとしてその学科のPBL実践演習で実践的な問題解決に取り組みます。この経験を踏まえて4年次には、本来の所属学科で卒業研究を実施。2つの専門分野を持つ「Π(パイ)型人材」を目指します。





# SDGsに取り組む南山大生

## 国際教養学部の学生が、企業インターンシップにて「サステナビリティ宣言」を策定！

国際教養学部4年生の小島弘久さんと水谷有沙さんが、株式会社学生情報センターが推進する有給インターンシップを通じて食品輸入製造卸の「アルファフードスタッフ株式会社」(名古屋市西区)にて就業しました。同社で企画されたSDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)の取り組みを強化し、経営への統合を目指すことを宣言した「サステナビリティ宣言」の策定に参加しました。企業主体の発信を避け、中立的視点を持たせるため、本学でSDGsについて研究している二人がインターンシップ生として採用されました。二人は、同社の浅井常務とともに全ての部署の責任者に事業内容

をヒアリング。それをもとに「すべての人に健康と福祉を」「つくる責任 つかう責任」などのSDGsの17項目についてそれぞれ達成度をA～Cと未実施の4段階で評価しました。同社の「サステナビリティ宣言」では、その評価をもとに「オーガニックの啓蒙活動の実施」「フードロス削減」といった5つのアクションプランが掲げられています。



### 小島さん、水谷さんコメント

社会にとって必要だと信じて大学で学んできた「持続可能性」を軸に地元の企業とともに未来について考え、自らのキャリアに生かせる貴重な機会だと思ったため、インターンシップへの参加に至りました。大学で学んだ体系的な理論は、アルファフードスタッフ株式会社の現状や理想状態を繋げ合わせ、言語化することに役立ったと思います。また、世の中に起こっている事象について持続可能性を通して思考できるようになりました。

オーガニック食品を取り扱う会社ならではのSDGsの取り組みを考えるのは

ハードルが高かったですが、ヒアリングを通じて社員の方々の想いを受け止め、持続可能な社会をつくるためのアクションがまとまったときは達成感がありました。大学で学習をするだけではなかなか理論が世の中で生かされている感覚を持っていませんでしたが、今回のインターンシップを通して大学での学びが社会に生かされるという実感を持てるようになりました。



## 2020年度南山チャレンジプロジェクト「家田製菓」との産学連携

### プロジェクトの目的

本来は、「学生がエチオピア(アフリカ)へ渡航し、家田製菓株式会社と現地の方と一緒に、現地の穀物を利用して、ボン菓子の製造を指導し、普及させること」でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航は中止に。そこで、アフリカのことを知ってもらいたいという思いから、エチオピア(アフリカ)の食材を用いた日本人向けのボン菓子商品の開発を始めました。

### なぜボン菓子の製造？

世界のどの穀物でもボン菓子加工に適しているため、エチオピアでボン菓子という挑戦になりました。現地で収穫できる穀物に付加価値を付け、お菓子である「ボン菓子」として販売をすることで、農家は収入をアップさせることができます。現地の農作物で、現地で加工・販売をすることができれば持続可能なビジネスとして、現地の人々の所得の向上や雇用機会の創出、日持ちするお菓子として食料難の解決を見込むことができます。

ボン菓子製造の家田製菓株式会社は、過去にもケニア(アフリカ)においてボン菓子の製造から包装・販売まで指導してきた実績があり、今回の産学連携企画となりました。

### 南山チャレンジプロジェクト発の「ボン菓子」を販売します。

日本でのボン菓子販売のため、家田製菓株式会社の工場にて試作・試食会を行いました。

参加した学生からは、「ボン菓子のことをよく知らない自分たちでも、ボン菓子機械を動かすことができ感動した」という声が聞かれました。

販売する「ボン菓子」の売上はエチオピアに贈る穀物膨張機の購入代金に充てられます。気になるお味は、

- 現地の伝統的な香辛料を使ったスパイシーな「パルパレ味」
- 今世界が注目するスーパーフード「モリンガ」を使用した「はちみつモリンガ味」
- コーヒーの香りと黒糖の甘さがマッチした「黒糖コーヒー味」
- 優しい甘さでシナモン香る「ピーナッツごまシナモン味」

の4種類です。

販売時期・方法等については「南山大学 家田製菓」公式Instagramにて！



### 学生コメント

私たちは、エチオピアにボン菓子を広めることでSDGsに貢献しようと活動しています。エチオピアに新たな食文化を伝え、雇用機会を創出し、新たなビジネスモデルを作ることが目標です。皆さんに購入していただいた収益は、現地で使用するボン菓子製造機の購入に繋がります。

コロナ禍でエチオピア渡航が難しい今だからこそ、まずは日本での認知度を上げるべく、家田製菓さんと協力しながら、エチオピアにゆかりのある味のボン菓子の製作・販売やイベントへの出店に力を入れています。応援よろしくお願いします！



▲@nanzandaigaku\_jedaseikaで検索！



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 活躍する南山大生

### 南山大生がコロナ禍をきっかけにカフェを始めました！

外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科4年の滝川陽さん、手島レオナルドさんが、土曜日のお昼限定でバルを間借りした学生カフェ&マルシェ「eleye (エレジェ)」を6月6日にオープンさせました。運営やメニュー作りなどすべてを学生たちの手で行っています。カフェの目玉商品はスペインの定番“チュロス”。スペインへの留学経験のある二人がつくる本場スペイン風のチュロスは作り方や日本人が好む味や風味を研究し、気が付けば主食がチュロスになるほど試行錯誤を繰り返したそう。チョコレートソースに浸して食べるのが本場流とのこと。スタンダードなチュロスだけではなく、名古屋ならではのチュロスや、おやつとしてではなく食事メニューとしてのチュロスなどもあります。チュロス以外にもドリンクやスイーツなど新商品の開発などにも力を入れており、何度でも通いたくなるお店作りに取り組んでいるそうです。

また、月に1度開くマルシェでは同じ学生の知り合いや、アクセサリなどの作品を作っている若者にSNSを通じてメッセージを送り、出店者を集めています。店内には色とりどりのさまざまな感性の商品が並び、カフェだけでなく買い物も楽しめる空間になっています。

カフェの営業時間や、マルシェの開催についてはお店のInstagramをチェックしてください！

滝川さん、手島さんからのコメント

私たちはコロナ禍でアルバイトもなくなり、'何か自分たちの力でできることはないか'と考えてこのカフェ「eleye (エレジェ)」を始めました。本場スペインのチュロスを楽しんでいただくだけでなく、カフェの中で月に一度マルシェを開催し、若いクリエイターやアーティストの出店者を募り、池下から地元名古屋、愛知を盛り上げていけるように営業しております。週に一度土曜日の営業です。素敵な週末をスペインのチュロスとお過ごしください。Instagramも随時更新しておりますので是非チェックお願いします。  
Muchas gracias !



▲左から手島さん、滝川さん



▲@eleye\_churreria\_で検索！

## 卒業生の活躍



成井 大介  
文学部神学科  
1996年度卒業

### 本学卒業生がカトリック新潟教区司教に着座

本学卒業生の成井大介神父が、教皇フランシスコにより新潟司教に任命され、2020年9月22日に叙階・着座式が行われました。

カトリック教会は、地域ごとにそれぞれの「教区」に分かれており、日本には「東京大司教区」「名古屋教区」など16の教区があります。新潟教区の司教については、2017年に本学卒業生である菊地功大司教が新潟教区より東京大司教区に着座されて以来2年半にわたり空位となっていました。このたび、再び本学の卒業生が司教に任命されることとなりました。

叙階・着座式は新型コロナウイルス感染対策のため参加者を限定し、オンラインでのライブ配信も行われました。

成井司教は、南山高等学校国際部（現在の南

山国際高等学校）を卒業後、南山大学文学部神学科を卒業されました。その後2001年に南山教会で司祭叙階され、神言修道会ローマ総本部にて正義と平和（JPIC）コーディネーターなどを務められました。

叙階・着座式にはキサラ学長も参列しました。

成井司教が神学生であった1999年に、キサラ学長は神言修道会神学生養成担当として出会いました。以来、神言修道会ローマ総本部にて共に働き、長く親交のあった二人は、新潟で再会しました。



2020.6.24 - 2020.9.16

## 1年次生のための特別出校日

第2クォーターより、入学以降キャンパスを訪れることができなかった1年次生の皆さんに、南山大学を知り、体験してもらうことを目的とし、学部学科ごとに日にちと時間を分けて行いました。感染症拡大防止のため、大教室を使用し、十分な距離をとることができるよう配慮して行いました。キサラ学長による学長講話、新入生向け各種ガイダンス、学科企画、課外活動紹介などが行われ、初めて会う友人、先輩、教員との交流を楽しむ様子が見られました。また、遠方に住んでいる学生や感染への不安がある学生に対してはZoomによる配信を行いました。



2020.10.31

## 受験生のための入試説明会

10月31日に、一般入試、全学統一入試、共通テスト利用入試の受験を検討している受験生を対象とした入試説明会「受験生のための入試説明会」を実施しました。

感染症拡大防止の観点から、今年度は大学で実施する来場型と、オンライン上から参加するWeb配信型の同時開催とし、「入試概要およびWeb出願についての説明」、「河合塾講師による入試対策講座【英語】」および「個別相談」を行いました。

来場型とWeb配信型合わせておおよそ1,200名の申し込みがあり、多くの受験生にご参加いただきました。



2020.8.28

## 南山大学総合政策学部 秋学期入学者 学位授与式

8月28日に、総合政策学部秋学期入学者の学位授与式を行いました。当日は4名の卒業生のうち2名の卒業生が出席し、キサラ学長より学位記が授与されました。



2020.11.4

## 「南山チャレンジプロジェクト」採択通知授与式

11月4日に、2020年度「南山チャレンジプロジェクト(チャレンジ企画応募型)」のプロジェクト採択通知授与式を行いました。

「南山チャレンジプロジェクト」は、学生が主体となり、学内の活性化や大学での学びを生かした取組み、地域との交流、国際交流などを推進する課外活動を大学として支援し、学生の成長につながる機会を作り出すことを目的として2017年度から実施しています。

チャレンジ企画応募型として、今年度は5つの募集テーマ(①上智大学と南山大学の交流を促進する企画、②南山大学を活性化させる活動、③学びを深める活動、④地域交流活動、⑤国際交流活動)に合致した学生企画の課外活動を募集し、選考の結果、下記3件を採択しました。

式では、豊島学生部長より採択グループ代表者に採択通知書が授与され、阿部学生部次長からの講評、激励を受けました。

### 【採択された取組み名称[グループ名]および内容】

- Nanzan AID [Nanzan AID]
  - ①オンライン上で南山大学1年生のみを対象とした交流会を企画・実施
  - ②クリスマス企画“Light UP Nanzan”を実施する。学内イルミネーションの設置や、グリーンエリアでのイベントを企画する。
- オンライン英会話 [online English place]
 

オンライン授業により、留学や留学生と交流ができない人に気軽に英会話に参加してもらえるような場を提供する。
- 南山大学オンラインイベントRE:Start [RE:Start]
 

Withコロナ時代の新しいイベントモデルとして、オンラインで各種イベントを実施する。

  - ①南山大学公認団体・サークルによる演奏会等、有志企画
  - ②運営メンバーによる独自企画
  - ③著名人を呼んで講演企画
  - ④国際交流に関する企画(留学経験者へのインタビュー)



2020.9.11

## 2020年度9月卒業式

9月11日に、南山大学内R棟フラッテンホールにて9月卒業生・修了者の卒業式を行いました。恩師や友人達と学生生活最後の時間を過ごす姿が印象的でした。



2020.9.26

## 保護者の集い

9月26日に、南山大学と南山大学後援会の共催で、第48回南山大学「保護者の集い」を開催しました。今年度は感染症拡大の影響を考慮し、全体会および後援会企画のみをWeb上での動画配信にて実施しました。

全体会では、キサラ学長と白木後援会理事長からの挨拶や、学生生活、進路支援、2020年度の就職状況、国際教育についての説明動画を配信しました。

後援会企画では、「withコロナ時代の就活と企業の動向」と題して、日頃、学生の就職活動サポートに従事している企業担当者が保護者からの質問に答えながら、Live配信で講演をしました。



## 経済学部経済学科の学生が「第20回全国学生対抗円ダービー」で「ユニーク賞・もう一步賞」を受賞

学生がチームで6・7月末の東京為替市場の円・ドル相場を予想し競い合う「第20回全国学生対抗円ダービー(日本経済新聞社主催)」で、予想方法に独自の工夫が見られたチームに送られる「ユニーク賞」を経済学部経済学科稲垣ゼミ3年生の石原千尋さん率いるチームが受賞しました。

石原さんチームは、新型コロナウイルスの流行に伴う経済活動自粛の影響を分析するために、日米の人の移動量の変化に着目しました。米アップル社が提供するデータを分析し、人の移動量が相対的に多い国(=自粛しない国)の通貨が安くなる傾向を発見して、相場予想に生かしました。さらに外出自粛が進むと上昇する傾向があるゲーム会社

の株価も分析対象に加えました。議論はすべてビデオ会議で行い、週1回のゼミのほか、締め切り間近には毎晩オンラインで集まり、議論を交わしました。

また稲垣ゼミより同学部3年生の石川斗也さんのチームも、「もう一步賞」を受賞しました。日本経済新聞の記事を安心材料とみられる「ポジティブ」、不安材料とみられる「ネガティブ」に分類し、記事数を集計し、その結果ネガティブな記事が相場に一定の影響をもたらすことを発見した点が評価されました。



▲稲垣ゼミのみなさん

## 得点板贈呈式

株式会社名古屋銀行取扱いの私募債制度「SDGs・寄贈型私募債『未来への絆』」にて、大竹金属株式会社様より、グラウンドで使用される得点板を寄贈いただきました。贈呈式は9月28日に本学グラウンドにて行われ、豊島学生部長と加藤体育会執行委員長が代表して出席しました。



▲左より、豊島学生部長、加藤体育会執行委員長、大竹金属株式会社・大竹様

## 名誉教授の叙勲伝達式

令和2年春の叙勲において、岡部朗一名誉教授が瑞宝中授章を受章しました。新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で天皇陛下への拝謁が中止となったため、9月23日に岡部名誉教授への叙勲伝達式を大学にて行いました。式は元外国語学部所属の岡部名誉教授の研究室があったL棟内にて行われ、キサラ学長より岡部名誉教授に勲記および勲章をお渡しし、近況をお伺いしました。



## R棟6階に礼拝室を設置

多様な文化・宗教的背景を持つ学生および教職員が、安心して祈りを捧げられる場を提供するため、R棟6階に礼拝室と清めの場を設置しました。

毎年、約30の国や地域から450名の外国人留学生を受け入れている本学では、「国境のない学びの場」として、今後もすべての学生が快適な学生生活が送れるよう、キャンパスの環境整備に取り組んでいきます。



## 人文学部浅石卓真准教授が、2020年度日本図書館情報学会賞を受賞

人文学部人類文化学科の浅石卓真准教授が、2020年度日本図書館情報学会賞を受賞しました。本賞は、図書館情報分野を対象として、一定の学術的体系性を持ちオリジナリティのある単行書に授与されるものです。受賞作は『教科書の中の知識：テキストの計量情報学的分析』です。同書は中学と高校の理科教科書を対象として、その本文中で知識がどのように編成されているかを総合的に描き出したものであり、情報学の多様な分析手法を組み合わせて緻密に分析した点が評価されました。



## 名誉教授が秋の叙勲受章

令和2年秋の叙勲において、友岡敏明名誉教授が瑞宝中授章を受章しました。友岡名誉教授は、1983年に南山大学法学部助教授となった後、85年同教授に就任。南山大学法学部法律学科長、法学部長、評議会評議員、ヨーロッパ研究センター長、地域研究センター委員会委員長などを歴任しました。2010年に南山大学名誉教授の称号を授与されました。

## ■ 後援会

南山大学後援会は、在学生の保護者によって組織され、大学の経営を助成するとともに教育目的達成のために貢献し、併せて会員相互の親睦をはかることを目的としています。

今年度の南山大学後援会定例評議員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となり、理事・評議員による書面審議が行われました。(1)2019年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2020年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。また、浅野好昭様が理事長を退任され、新理事長には白木千之様が就任されました。



▲感謝状を受領した浅野前理事長

後援会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/>



## 後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目		2019年度決算	2020年度予算
収入の部	前期繰越金	604,204	2,721,162
	入会金	2,002,000	2,181,000
	会費	176,910,000	175,000,000
	合計	179,516,204	179,902,162
支出の部	教育・研究活動等支援援助金	163,000,000	163,000,000
	留学生支援活動援助費	(68,000,000)	(65,000,000)
	教育研究図書援助費	(38,000,000)	(45,000,000)
	履修関係費	(11,000,000)	(10,000,000)
	広報活動援助費	(7,000,000)	(7,000,000)
	課外活動援助費	(34,000,000)	(30,000,000)
	就職指導活動費	(5,000,000)	(6,000,000)
	後援会活動費	9,795,042	10,000,000
	保護者の集い	(1,855,715)	(1,500,000)
	就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
	広報費	(5,510,300)	(5,900,000)
	事務費	(1,229,027)	(1,400,000)
	課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
	予備費	0	400,000
	次期繰越金	2,721,162	2,502,162
	合計	179,516,204	179,902,162

## 後援会貸借対照表

2020年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	75,629,829	課外活動援助基金	31,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	2,721,162
合計	75,629,829	合計	75,629,829

## 《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	27,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
当年度取崩金	0		
合計	31,724,604	合計	41,184,063

## ■ 2021年度学生納付金改定について

2021年度以降の入学者からは、従来から実施してきた授業料スライド制(社会情勢を踏まえて毎年改正を行う方式)をやめ、新しい方式を採用し、入学時に4年間全体の納付金額を提示し、4年間の在学中に納付金を改定することがない方式に変更します。

2021年度南山大学学生納付金について、学部は2019年9月27日開催の学園理事会において、大学院は2020年3月27日開催の南山学園理事会において、以下の通りとすることを決定しました。

### ◎学部学生(2020年度以前入学生)

情報理工学部、理工学部を除く学部については、授業料を現行の718,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。外国語学部英米学科LL実習費は、2年次生は現行の18,000円に、3年次生および4年次生は現行の9,000円に据え置く。

情報理工学部、理工学部については、授業料を現行の818,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。

### ◎学部学生(2021年度入学生)

理工学部を除く学部については、入学金を250,000円に、授業料を750,000円に、施設設備費を改め教育充実費とし240,000円に改定する。外国語学部英米学科LL実習費は、1年次生は現行の18,000円に据え置く。なお、4年間の学生納付金は、4,210,000円、外国語学部英米学科は4,264,000円となります。

理工学部については、入学金を250,000円に、授業料を750,000円に、施設設備費を改め教育充実費とし340,000円に改定する。なお、4年間の学生納付金は、4,610,000円となります。

### ◎大学院学生

理工学研究科および法務研究科を除く研究科については、入学金を現行の300,000円、授業料を574,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。法務研究科については、入学金を現行の300,000円、授業料を1,000,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の200,000円に据え置く。

理工学研究科については、入学金を現行の300,000円、授業料を654,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。

### 【2021年度学生納付金徴収(引落日)】

・春学期(第1・第2クォーター分)

2021年4月12日(月)

・秋学期(第3・第4クォーター分)

2021年9月27日(月)

各学期の公示、および学納金通知はがきにてご案内いたしますので、ご確認ください。

## ■ 名誉教授称号授与

次の8名の教授に対し、その功績を称え、2020年4月1日付で名誉教授の称号を授与しました。なお、本年の名誉教授称号授与式は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2日間に分けて10月に開催しました。

人文学部  
横山輝雄 教授

人文学部  
CAVALLAR, Osvaldo 教授

人文学部  
坂井信三 教授

人文学部  
SWANSON, Paul 教授

人文学部  
鳥巢義文 教授

経済学部  
大谷津晴夫 教授

経営学部  
斎藤孝一 教授

短期大学部  
市瀬英昭 教授



## ■ イベント中止のお知らせ

感染症拡大の影響を受け、南山大学では、学生・教職員を始めとする皆様の安全安心を最優先に考えた結果、予定していた以下のイベントを中止といたしました。

● 秋学期入学者入学式  
(2020.9.11)

## ■ 寄附者ご芳名

「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

外山吉夫様	是洞恭子様	山田啓子様	村木伸将様	小崎あつ子様	吉村貞彦様	永井恭子様	杉浦航様
岡村孝様	後藤悟様	小出龍三様	有賀裕紀様	三品雅義様	原敬詞様	八木忠夫様	中谷通代様
中村和美様	浜島健三様	近藤智也様	加藤紀久子様	日比野常二様	林典子様	伴真里奈様	匿名ご希望者 38名様
服部高明様	菱川弘勝様	佐藤泰和様	玉津雅己様	安江好秋様	森登子様	加藤(岸田)祥子様	
松本佳香様	松岡直行様	服部彰善様	佐藤正夫様	高橋裕三様	井口文子様	益谷隆禎様	
西村淳子様	入山毅様	小澤正樹様	根間洋子様	加藤重廣様	西川コミュニケーションズ株式会社様		
山田重人様	山岡寿夫様	池口裕子様	新聞忍様	工藤純江様	公認会計士磯部誠一事務所		
林佳宏様	新聞健生様	濱崎百合子様	松田将大様	加藤洋子様	公認会計士 税理士 磯部誠一様		
松永汎人様	前田幸明様	太田千裕様	木村勉様	皿井健裕様			

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

株式会社はやしや 匿名ご希望者 2名様  
代表取締役社長 飯村和生様  
株式会社名古屋銀行様

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

高井千恵様	嶋崎英子様	田中和枝様	成田栄寿様
中川敏様	松本佳香様	田中慶太郎様	伊藤敬児様
大竹かおり様	浅井秀明様	柳瀬純子様	匿名ご希望者 45名様
丸尾敏之様	村田久美子様	池口裕子様	
山本記大様	萩原寿子様	柳井聡子様	
下山雅之様	武市直子様	姉帯純子様	

聖霊修道院ベタニア共同体様  
株式会社植屋様

「南山宗教文化研究所の設備修繕」へのご協力に感謝いたします。

匿名ご希望者 1名様

## Special Events Schedule

2021.3.20

### 2020年度 南山大学卒業式

開催日時：2021年3月20日(土) 第1部 午後1時より  
第2部 午後3時15分より

内 訳：【第1部】外国語学部、法学部、理工学部、情報理工学部、国際教養学部、国際地域文化研究科、法学研究科、理工学研究科、法務研究科  
【第2部】人文学部、経済学部、経営学部、総合政策学部、人間文化研究科、社会科学研究科、ビジネス研究科

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、式典の内容を変更、または中止とする場合があります。

問合せ先：総務課 (Phone:052-832-3112)

※撮影時のみマスクを外しております。イベント開催時には、手指消毒・マスクの着用などの感染症拡大防止対策を講じています。



南山大学

発行 学長室 / 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)  
E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp https://www.nanzan-u.ac.jp/